

令和元年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和2年3月5日

学校法人鵬学園認定こども園百石幼稚園

1、本園の教育目標

丈夫で明るい子/最後までやり抜き頑張る子/よく考えて物事を工夫する子/
みんなと仲良く思いやりのある子

2、本年度重点目標・計画

6つの重点事項を設け、きめ細やかな対応と、中長期的な計画の中で本年度の計画に取り組む。特にECEQにおける教育内容の客観的評価に基づく見直しをする。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの健やかな育ちを第一に活動を行う	A	ECEQ、園庭整備などで、これまでの保育の取り組みを再確認・再構成できた。
2	保護者の教育力を高める活動	C	百幼大学をはじめ、保護者支援をニーズに合わせて行った。子育て支援教室の内容充実も図った。
3	地域貢献活動	B	あじゅまるビルでの催事参加や町の行事に積極的に参加できた。
4	教員研修の強化	A	内部研修では、基本的な保育内容について丁寧に見直し、外部研修で専門性を高めた。
5	働きやすく多様に働ける職場環境づくり	B	リーダーの自己評価を行い、キャリアアップにつなげた。人材育成のための発信も行った。
6	ファンが生まれる園児募集計画	C	既存顧客への取り組みは、卒園児はじめ双方向の情報交換ができた。

評価 (A/十分に成果があった、B/成果があった、C/少し成果があった、D/成果がなかった)

4、総合的な評価結果

評価	理由
B	園内での取り組みはよくなされていたが、地域や新規保護者への働きかけが計画的にできなかった。保育環境の質向上は客観的な見直しにより、自園の課題が明確になり、結果保育の質向上が図られた。

評価 (A/十分に成果があった、B/成果があった、C/少し成果があった、D/成果がなかった)

5、今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	幼少接続	幼稚園と小学校の教諭がともに学ぶ機会を持ち、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の内容を共有して教育の接続を図る。
2	園児募集	園の内容を広く告知し、必要な方に十分に情報が届き関わりを持てるように、継続的な情報発信を行う。

6、学校関係者評価委員会の評価

常に積極的な取り組みがなされていて、質向上に努めていることが分かった。自己評価を厳しくつけている様子が見られ、向上心を感じた。客観的にみて、大変よくやっている。保護者への情報発信もよく行われており、安心して保育をしてもらえる環境であると、改めて感じた。今後も期待して園の成長を確認していきたい。